

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3138437号
(U3138437)

(45) 発行日 平成20年1月10日(2008.1.10)

(24) 登録日 平成19年12月12日(2007.12.12)

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------|---------|-------------|
| (51) Int. Cl. | | F I | | |
| A 4 3 B | 23/02 | (2006.01) | A 4 3 B | 23/02 1 0 8 |
| A 4 3 B | 3/10 | (2006.01) | A 4 3 B | 3/10 H |
| | | | A 4 3 B | 3/10 F |

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 6 頁)

| | |
|--|---|
| <p>(21) 出願番号 実願2007-6559 (U2007-6559)</p> <p>(22) 出願日 平成19年7月27日 (2007.7.27)</p> | <p>(73) 実用新案権者 507284134 相内 せき子 宮城県仙台市太白区富沢3丁目3番35号</p> <p>(72) 考案者 相内 せき子 仙台市太白区富沢3丁目3番35号</p> |
|--|---|

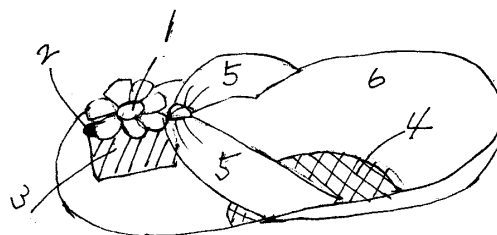
(54) 【考案の名称】 健康スリッパ

(57) 【要約】

【課題】 従来のスリッパは指と指が重なり合う問題点があった、文献1は鼻緒を前へ3~5cm、厚みを7~8mmとしてあるが、これだけでは欠点がある。

【解決手段】 鼻緒の長さを3.5~4cmとし、親指と人差し指の股にあたる厚みを3~4mm、指先を5~6mmの扇型にし、更に高さを3~4cmとすることで親指と人差し指が左右に動くのを防ぐ。鼻緒の上部に笠をつけ、隣合った指が重ならないようにする。布製のカバーをつけることで指の股が7~8mm、指先9~10mmと厚さを加えて指の開きを徐々に慣らしながら広げる。布製であるため、敏感な皮膚を刺激せずに足に負担をかけない。カバーの取り付け、取り外しが簡単で、洗濯が可能で衛生的。鼻緒と笠と足の甲のカバーを接合することにより、履いた時足にフィットし、安定感を保ち、違和感なく長時間着用可能。更に土踏まずが足にやさしく矯正に役立つ。

【選択図】 図6



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

鼻緒部分の厚みを3～4mm、指の先が5～6mmと扇型にし、長さを3.5～4cmとし、高さを3～4cmにして鼻緒の上部に笠をつけ、足の親指と人差し指のからまりを防ぐため、鼻緒と笠と足の甲のカバーを接合することを特徴とする健康スリッパ。

【請求項2】

布製のカバーを鼻緒部分に巻きつけることで、鼻緒部分の厚みを大きくし指の開きを助け、足指にやさしく、いたみを防ぎ、取り外し、取り付けが容易で、洗濯可能で清潔にすることを目的として、布製でやさしく、敏感な指の皮膚に違和感なく長時間着用し、カバーの両側にマジックテープあるいは水洗い可能な強力な両面テープを使用したことを特徴とする請求項1に記載の健康スリッパ。

10

【請求項3】

請求項1及び請求項2に記載した健康スリッパに土踏まずの部分設けることにより、長時間着用することで矯正にも利用しうる健康スリッパ。

【考案の詳細な説明】

【技術の分野】

【0001】

本考案は健康スリッパに関する。

【背景技術】

【0002】

鼻緒部分を前へ長く3～5cmとり、厚みを7～8mmとしている。(例えば特許文献1を参照)従来課題は問題がある。

20

【特許文献1】登録実用新案第3128772号

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

鼻緒を前に3～5cmとり、厚みを7～8mmのぞうりスリッパは外反母趾の進行により足の親指と人差し指が重なり合うという欠点がある。鼻緒の長さ(厚み)とさらに、高さを考慮しなければ問題を解決できない。

30

【課題を解決するための手段】

【0004】

鼻緒の長さを3.5～4cmとし、親指と人差し指の股に当たる面の厚さを3～4mm、指先の開いた部分の厚さを5～6mmと、扇型にし、高さを3～4cmとすることで、親指と人差し指が左右に動くのを防ぐ。鼻緒の高さを2cm、2.5cm、3cmと試したが、3～4cmが足指のからまりを防ぐことがわかった。しかし鼻緒を高くするだけでは充分ではなく、鼻緒の上部に笠をつけて親指と人差し指が重ならないようにする。布製のカバーをつけることで、指の股部分が7～8mm、指先の開いた部分を9～10mmと鼻緒部分の厚さを大きくし、指の開きを徐々に慣らし、広げていく。布製であるため、敏感な指の皮膚を刺激せず、足にやさしく負担をかけない。又、カバーの取り付け、取り外しが容易で、洗濯が可能で衛生的である。鼻緒と笠と足の甲のカバーの3箇所を接合することで履いた時、足にフィットし、安定感ができ、足にかかる力を小さくし、着脱が簡単で、長時間履いても違和感なく着用可能、更に土踏まずが足にやさしく、矯正に役立つ。

40

【考案の効果】

【0005】

使い始めは細い鼻緒から徐々に厚い鼻緒に換えていき、指の開きを時間をかけて慣らしていくのが理想である。太い鼻緒を無理に着用すると、足に負担がかかり、長時間、履くことは困難と思われる。カバーの取り外しを自由なことで、鼻緒部分の厚さを太くも細くもでき、色々なタイプの足に合わせることができる。カバーが布製のため、敏感な指にやさしく、負担をかけない。鼻緒部分を長く前に突き出し、高さも十分に取り、笠をつ

50

けることで足指が左右に動くのを防ぎ、指の絡まりも防ぐ。笠をつけることで下の鼻緒を隠して、全体をすっきりときれいに見せ、デザイン的にも考慮している。従来のスリッパは、長時間履くと足が痛くなり、着脱が容易でないため、宝の持ち腐れとなってしまうがちである。鼻緒部分と笠と足の甲のカバー部分を3箇所接合することで着脱が楽にでき足にフィットする。履いた時に足に安定感ができ、足にかかる力を小さくし、長時間履いても痛みがなく履いていることさえ忘れてしまうほど違和感がない。又、土踏まずが足にやさしく矯正に役立つ。足の矯正に必要なことは、痛みがなく、指の絡まりを防ぎ、楽に着脱ができ、長時間着用することを必要とする。このスリッパはこれらの条件を満たしデザインにも優れている。

【考案を実施するための最良の形態】

10

【0006】

図1に示すように1は鼻緒部分の上部にとりつける笠、親指と人差し指がからまらず、足指が動くのを防ぐためのもの。指が固定されて不安定な状態を守る。1を鼻緒につけることで指の絡まりを防ぐだけでなく、全体をすっきりと見せバランスがとれファッション性にも優れる。

【0007】

図2に示すように、2は指の股の厚みを3~4mm、指先の開いた状態を5~6mmと、親指と人差し指が自然と開いた状態、扇型になるための鼻緒である。鼻緒2の長さを3.5~4cmとし、高さを3~4cmとすることで、親指と人差し指の絡まりを防ぐ。2の高さを2cm、2.5cm、3cmと試したが、3~4cmが最も絡まりを防ぎ、指が上

20

【0008】

図3に示すように3は布製のカバーで2の鼻緒部分に巻きつけるもの。2の厚みを増すためのもので、このカバーをつけることで指の開きを大きく変えていくためのもの。ゴム製、皮革にアレルギー反応を起こす人もいるが、布製は足にやさしく理想的である。最大のメリットは取り外し可能で洗濯もでき衛生的である。取り付けも楽でマジックテープあるいは水洗いも可能な強力な両面テープを使用する。

【0009】

図4に示すように4は土踏まず。4をつけることにより足の疲れを取り除き指を開くことを助けるためのもの。4は足の矯正に役立つ。2の鼻緒部分に3の布製のカバーを巻きつけたもの。

30

【0010】

図5に示すように、真上から見たもの。2の鼻緒部分に1の笠を取り付ける前の形態である。2の鼻緒と5の足の甲のカバーが接合した本体6。

【0011】

図6は側面から見た図。本体6の出来上がり図である。6は1の笠と2の鼻緒、2に3のカバーを取り付け5の足の甲カバーが合わさったもの。1と2と5が接合することで楽に着脱でき足の動きを安定させ長時間着用することを目的とする。2に3のカバーを取り付けることで2の厚みを大きくし取り付け取り外しが簡単、洗濯可能で清潔を保つのが目的である。カバーを巻きつけることでクッションの役割もあり、痛みを解消する。厚みが加わることで指の開きを広げる役割をする。4の土踏まずは疲れた足にやさしく長時間履くことを目的とする。長い時間しめつけた足を徐々に開いてあげるようにし、外反母趾の進行を防ぐためにはこの健康スリッパを履くことで、足指を広げて痛みがなく長い時間はく

40

【0012】

図7は2の鼻緒の上に1の笠をつけたもの、2の鼻緒に3のカバーを取り付けたもの、1と2と5の足の甲のカバーが接合したもの、4の土踏まずがついたもので真上から見た本体6の出来上がり図である。

【産業上の利用可能性】

50

【0013】

年齢を問わず多くの女性は足に負担をかけて外反母趾で悩んでいるように思われる。外出先から帰ったときに抑えられた足指を開放してあげることが肝要と思われる。楽に、簡単に着脱でき、カバーをつけることで鼻緒の厚みを細くも太くもできるため、多くのタイプの足に合わせることができ、取り外しが簡単で、洗濯が可能で衛生的にも良い。カバーが布製でクッションの役割もあり、足指にも痛みがなく、長時間着用可能である。鼻緒に笠をつけることで足元をスッキリときれいに見せ、ファッション性にも優れている。笠の部分に変化をつけ色々な工夫をこらすことで矯正スリッパを日常生活の中で楽しみながら利用できる。

【図面の簡単な説明】

10

【0014】

【図1】本考案に係る健康スリッパの一部

【図2】本考案に係る健康スリッパの一部

【図3】本考案に係る健康スリッパの一部

【図4】本考案に係る健康スリッパの製造における工程図

【図5】本考案に係る健康スリッパの製造における工程図

【図6】本考案に係る健康スリッパを横から見た図

【図7】本考案に係る健康スリッパを上から見た図

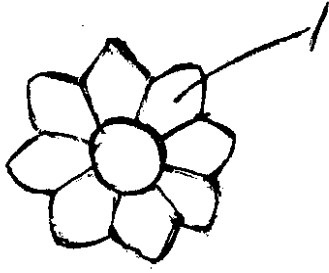
【符号の説明】

【0015】

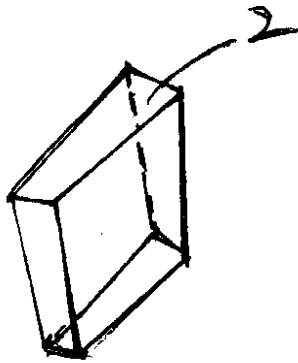
20

- 1 . 鼻緒の上部につく笠
- 2 . 鼻緒
- 3 . 布カバー
- 4 . 土踏まず
- 5 . 甲の部分のカバー
- 6 . スリッパ本体

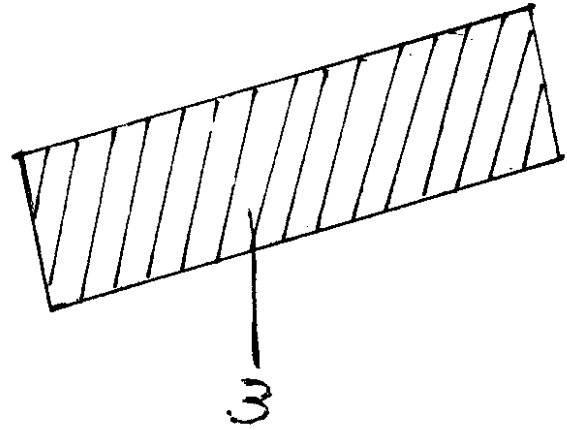
【図 1】



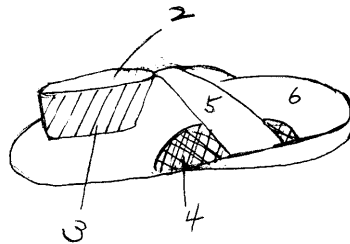
【図 2】



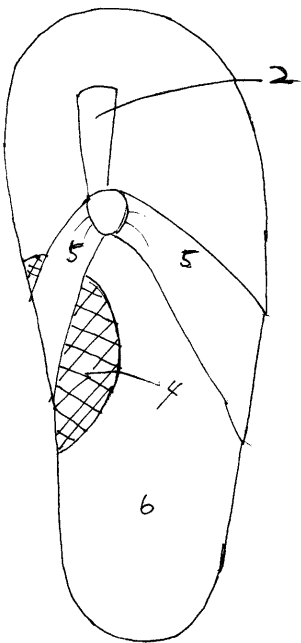
【図 3】



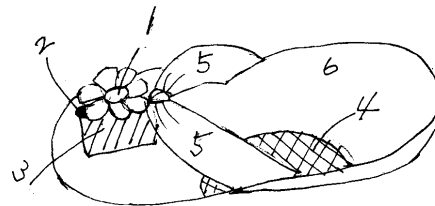
【図 4】



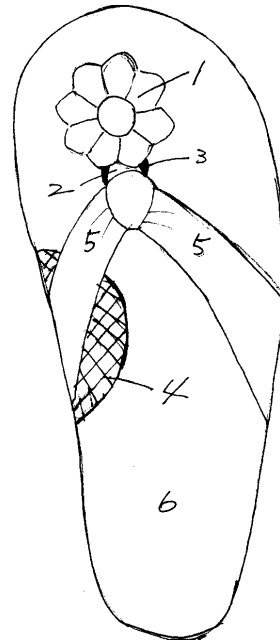
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【手続補正書】

【提出日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

布製のカバーを鼻緒部分に巻きつけることで、鼻緒部分の厚みを大きくし指の開きを助け、足指にやさしく、いたみを防ぎ、取り外し、取り付けが容易で、洗濯可能で清潔にすることを目的として、布製でやさしく、敏感な指の皮膚に違和感なく長時間着用し、カバーの両側にマジックテープ（登録商標）あるいは水洗い可能な強力な両面テープを使用したことを特徴とする請求項1に記載の健康スリッパ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1または2に記載した健康スリッパに土踏まずの部分設けることにより、長時間着用することで矯正にも利用しうる健康スリッパ。